

学校給食と連携した食農体験

事業実施主体:富士市(静岡県)

- 富士市では、食育推進計画「第3次富士山おむすび計画」(令和元年度～令和5年度)において、食を通して心身の健康と豊かな人間性を育むため、農林漁業体験学習に取り組んでいる保育園・幼稚園・小中学校の割合を増やすことを指標とし、食農体験を推進している。
- 本事業では、小中学生を対象に野菜栽培、献立での考案、給食で提供、献立を動画で紹介という一連の取組を実施し、地元農業者と交流しながら、楽しく作って、楽しく食べる食農体験の機会を創出した。
- 小中学生が楽しみながら農業や食材について学習し、「食」への興味関心を高め、感謝の気持ちを育む体験活動となった。



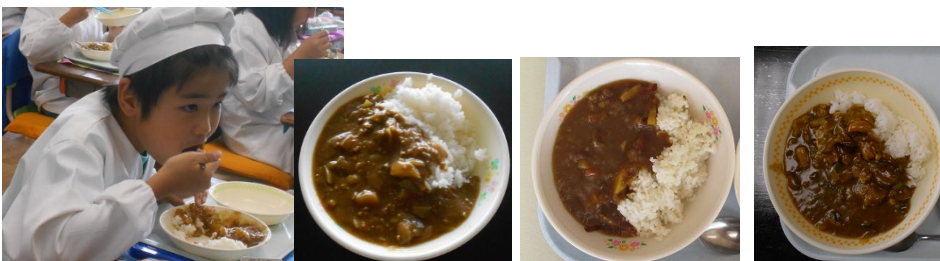
【取組の内容】

今年度の食育推進校3校でそれぞれ野菜栽培体験、学校オリジナルカレー考案、給食での提供を行った。このうち、1校では、オリジナルカレーの食レポ選手権を実施し、レシピ動画と共に市公式YouTubeで配信した。

【じゃが芋・玉葱栽培体験】



【収穫したじゃが芋・玉葱を使った各校オリジナルカレーが給食メニューに登場！】



丘じゃがりカレー

広見カレー

岳陽中カレー

【取組の成果】

- 今年度の食育推進校3校での取組により、農林漁業体験参加者数の増加につながった。
- 地元農業者との交流による農業体験により、児童・生徒の農業への理解関心の向上、感謝の気持ちの醸成につながった。
- 児童生徒が取組を通じ、地産地消について、楽しく理解することができた。

【農林漁業体験の参加者数】

目標:延べ600人→実績:延べ929人[前年563人(65%増加)]

【小学生がオリジナルカレーを食レポチャンピオンとして動画で紹介】

【カレーの作り方を動画で紹介】

